



# 2010年6月期 通期決算説明資料

株式会社 マクロミル

証券コード: 東証1部 3730

# 1. 通期の業績に関するご報告

# 2010年6月期 通期 決算概要

(単位:百万円)

単体	第4四半期会計期間 (4/1~6/30)			通期 (7/1~6/30)			通期業績予想	達成率
	11期	10期	前年同期比	11期	10期	前年同期比		
売上高	1,708	1,574	108.5%	7,171	6,866	104.4%	7,300	98.2%
経常利益	513	387	132.6%	2,205	1,811	121.8%	2,190	100.7%
当期純利益	242	230	105.2%	1,167	1,054	110.7%	1,270	91.9%

連結	第4四半期会計期間 (4/1~6/30)			通期 (7/1~6/30)			通期業績予想	達成率
	11期	10期	前年同期比	11期	10期	前年同期比		
売上高	1,714	1,724	99.4%	7,353	7,755	94.8%	8,067	91.1%
経常利益	514	307	167.4%	2,135	1,753	121.8%	2,058	103.7%
当期純利益	240	181	132.6%	1,266	941	134.5%	1,139	111.2%

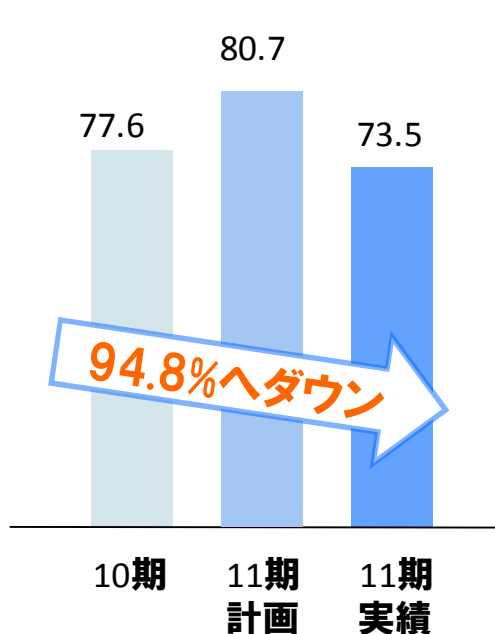
※連結通期EPS 10,182.23円

※11期第1四半期までは、AIPの業績が含まれます

# 通期業績と期初目標の差異について

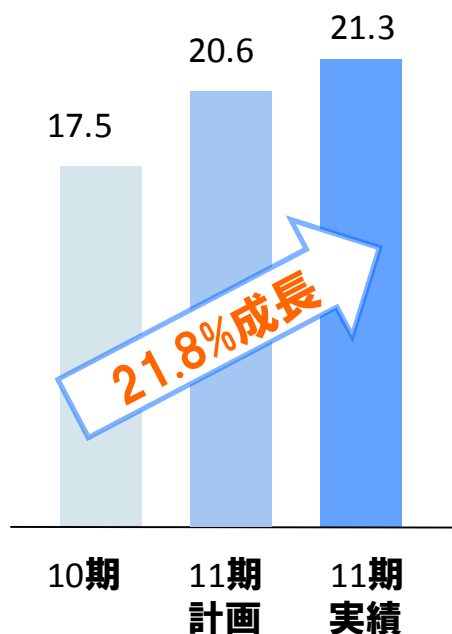
(単位:億円)

## 【売上高】



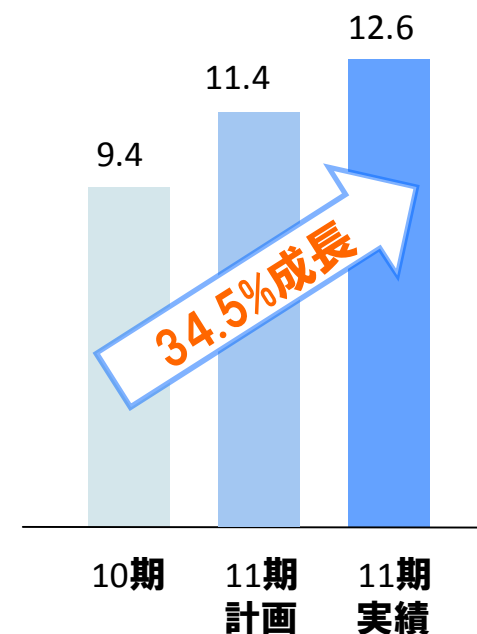
↓ AIPの売却	▲6.3
↓ 単体：上期未達	▲1.7
↑ 単体：下期達成	0.4
↑ bdbの取得	0.5

## 【経常利益】



↑ AIPのれん負担消滅	0.8
↑ 単体収益改善	0.1
↓ AIP第1Q業績	▲0.2

## 【当期利益】



↑ 経常損益(AIP等)	1.3
↓ 特別損益(減損等)	▲0.6
↑ 税効果 (AIP等)	0.5

- ✓ 2010年7月21日に発表の修正予想からは、ほぼ変更のない着地となった
- ✓ AIP売却により、売上高は減るものの、利益は大きく改善

# 通期の振り返り

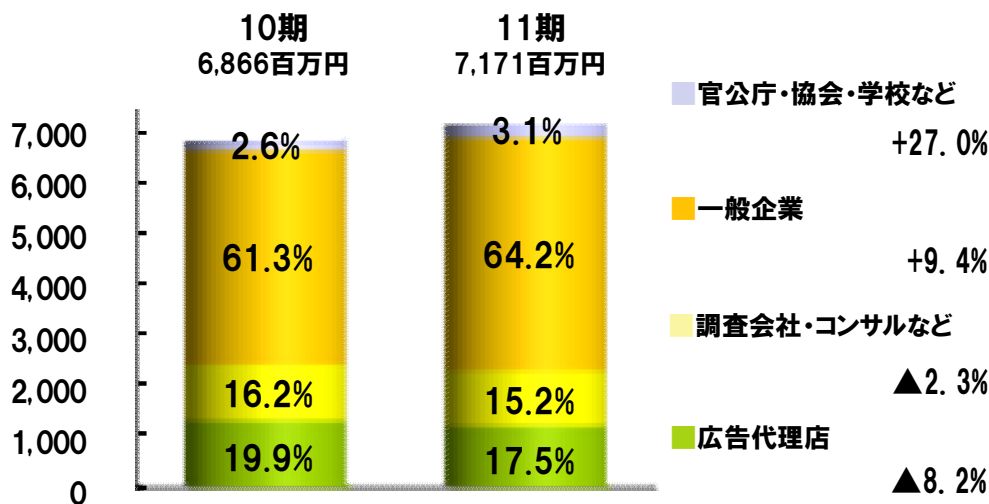
## ✓ 単体売上高は前年比増収となったが、連結ではAIPの売却により減収

- ・連結子会社であったAIPを10月に売却した影響から、連結売上高は前年比5.2%の減収
- ・単体売上高に関し、上期は景気の影響を受けたものの、下期の景気回復に伴い4.4%の増収となった

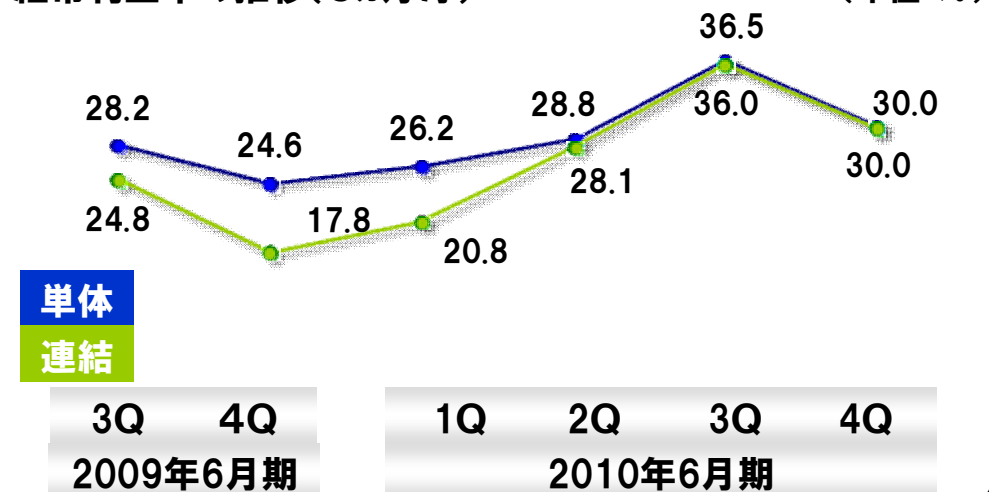
## ✓ 第11期通期の**単体経常利益率は30.8%**、期初目標の30%を達成

- ・グループ再編の結果、連結において通期経常利益率は29.0%となり、昨対比6.4%の改善
- ・当期純利益は単体の特別損失計上があったものの、連結では特別利益等により増加

業種別売上構成の推移(4Q累計、単体)



経常利益率の推移(3ヵ月毎)



# 2010年6月期 売上高前年比(単体)

✓2009年11月より、単月売上高で前年比プラスを8か月継続

✓景気回復等によるマーケティングニーズ増大に加え、  
業界に特化した組織の構築も奏功し、前年比+4.4%

- ◆食料品・飲料業界、その他業界を中心に、高い伸びを実現
- ◆広告代理店等の業界は、下期売上高が前年比プラスに転じた

## 前年同期比 増収

食料品  
飲料

流通

その他

日用品  
薬品

電気機器

…など

## 前年同期比 減収

広告代理店

調査  
コンサル

情報通信

自動車



下期にて  
前年比プラス  
に転じた

…など

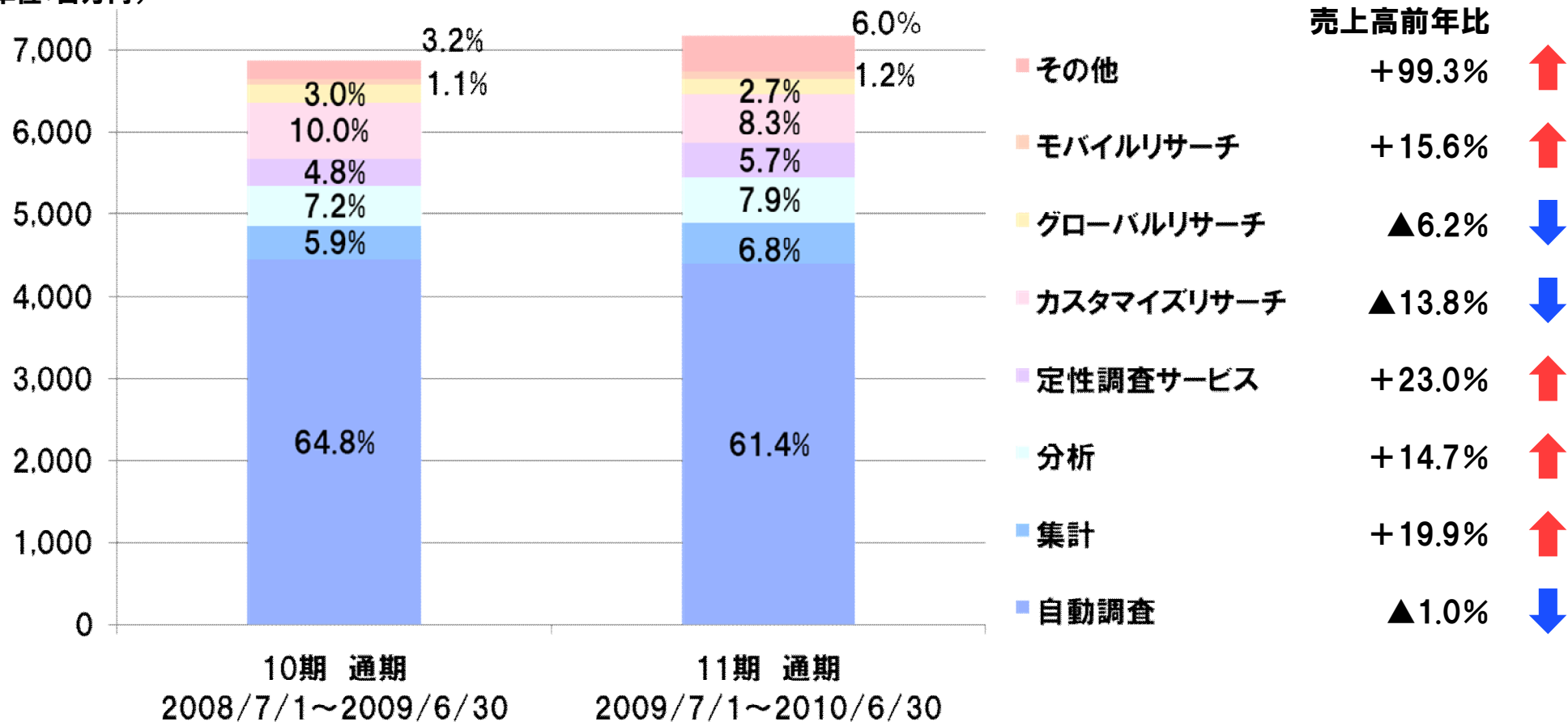
# 商品別売上構成の変化(単体)

✓顧客ニーズの多様化を反映した売上構成の変化となった

→自動調査の比率が下がり、分析や定性調査・新規事業などが大きく伸長

→グローバルリサーチはAIP売却の影響を受けたが、11期中に社内の体制強化を完了

(単位:百万円)



# 業績関連指標

指標	単位	2009年6月期	2010年6月期			通期 (第4四半期)
		通期 (第4四半期)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	
Q毎 平均受注単価	万円	68.1	72.8	70.3	72.9	70.0
Q毎 平均受注単価 (自動調査のみ)	万円	49.0	51.0	49.4	52.4	48.5
年間稼働社数(注1)	社	1,446	659	995	1,270	1,441
年間稼働窓口数(注1)	窓口	4,062	1,452	2,481	3,477	4,188
VIP社数(注2)	社	145	151	144	155	144
従業員数 連結(注3)	人	366	356	297	297	309
従業員数 単体(注3)	人	298	295	288	289	298
モニタ数	万人	86.1	87.4	88.7	90.3	92.6

(注1) 期初から該当期間までに一度以上売上のあった社数/窓口数を表示しております。

(注2) 年間10百万円以上売上の顧客をVIPと定義しております。

(注3) 従業員数は休職者を除いて表記しております。



# 新規・海外事業のご報告

	2010年6月期 通期売上高	備考
	2.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 年間契約：25社、スポット利用50社</li> <li>✓ 2010年7月：QPRモニタを1万人に拡大</li> </ul>
	1.0億円 (9ヵ月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2010年2月  bdb Mill™ サービス開始</li> <li>✓ 2010年8月 ,  開始</li> </ul>
	1.1億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2010年5月 セルフタイプサービス開始</li> <li>✓ 年間取引社数：約25社</li> </ul>
	2.1億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 従業員：22名、パネル数：22.1万人</li> <li>✓ 持分法適用会社の為、損益のみ取り込み</li> </ul>

※マクロミルコリアの売上は、1ウォン=0.0715円にて換算

## 2. 来期の業績予想について

# 2011年6月期 業績予想

	マクロミル 2010年6月期		2011年6月期			(ご参考)※ YVIネットリサーチ事業 2009年1月～2009年12月	
	金額	百分比	金額	百分比	前年比	金額	百分比

(単体)

売上高	7,171	100.0	12,530	100.0	174.7	4,346	100.0
原価・販売管理費	5,015	69.9	9,937	79.3	198.1	4,058	93.1
人件費	1,867	26.0	3,898	31.1	208.8	2,140	49.2
その他	3,148	43.9	6,039	48.2	191.8	1,918	43.9
経常利益	2,205	30.7	2,631	21.0	119.3	302	6.9
当期純利益	1,167	16.3	1,376	11.0	117.9	180	4.2

(連結)

売上高	7,353	100.0	12,530	100.0	170.4		
経常利益	2,135	29.0	2,506	20.0	117.4		
当期純利益	1,266	17.2	1,304	10.4	103.0		

※YVIのネットリサーチ事業の売上については、前年度会計期間(2009年1月～12月)の実績を基にしており、コスト、利益については、承継事業の売上比率を按分して算出しております。

# 2011年6月期 業績予想の内訳

	マクロミル 2011年6月期予算 10年7月～11年6月		旧YVI 2011年6月期予算 10年8月※～11年6月		統合後予算 (単純合算値)		統合の影響	マクロミル 2011年6月期 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比		金額	売上比
売上高	8,155	100.0	4,375	100.0	12,530	100.0	0	12,530	100.0
コスト	5,869	72.0	4,169	95.3	10,039	80.1	△139 (次ページ番号 ②+④+⑤)	9,900	79.0
のれん	-	-	-	-	-	-	38 (③)	38	0.3
経常利益	2,323	28.5	207	4.7	2,530	20.2	101 (②+③+④ +⑤)	2,631	21.0
特別損失	-	-	-	-	-	-	258 (①)	258	2.1
当期純利益	1,347	16.5	120	2.7	1,467	11.7	△91	1,376	11.0

※統合の効力発生が2010年8月1日であるため、旧YVIの2010年7月予算は、2011年6月期のマクロミル業績予想には含まれません。

11

# 2011年6月期 業績予想の前提

## ✓ 前年実績の単純合算から約10%の売上高成長を見込む

→ネットリサーチ市場の伸びを7%前後と想定(JMRA発表「第35回経營業務実態調査」より当社推測)

→統合によるシナジー効果および社内努力による伸びで、プラスアルファの売上を見込む

## ✓ 統合により、2011年6月期はコスト増となる見込み(単純合算比)

(単位:百万円)

一時費用		2011年6月期	2012年6月期	2013年6月期
①	特別損失 (システム、オフィス、人員)	258	0	0
②	営業一時費用 (システム、オフィス、人員)	12	0	0
一時費用小計		270	0	0

継続費用		2011年6月期	2012年6月期	2013年6月期
③	のれん負担の増加 (計7.5億円、20年償却)	38	38	38
④	償却費用の増加 (オフィス、システム)	101	138	76
⑤	費用減少 (重複業務の見直し等)	△252	△255	△255
継続費用小計		△113	△80	△140

費用合計	157	△80	△140
------	-----	-----	------

※①～⑤は前ページの「統合の影響」へ対応。

# 統合のスケジュールについて

## 2010年

- 4月19日
  - **統合に関する本格協議開始**
  - ヤフー株式会社に対し、第三者割当増資を決議
- 6月1日
  - 10,000株の第三者割当増資が完了
- 6月11日
  - YVIとの間で**吸収分割契約を締結**(マーケティングリサーチ事業の承継)
  - ヤフーが保有株式を15,000株とし、筆頭株主へ
  - ヤフーとの業務提携を決議
- 8月1日
  - **YVIのマーケティングリサーチ事業の吸収分割を完了**  
→マクロミルの単体従業員数が612名に

- 
- 10月1日
    - **組織・オフィスの統合完了(予定)**

## 2011年

- 1月1日
  - **サービス・システム・人事制度等の統合完了(予定)**

# 統合後の株主構成について

## ◆統合後の株主構成変化（上位5位、持株比率記載）

2010年6月末日現在

ヤフー株式会社	10.82%
株式会社バニラスカイ	8.35%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	7.63%
ゴールドマンサックスインター ナショナル	4.63%
柴田 聡	4.44%

発行済株式数: 138,586株  
持株比率は発行済株式ベース

統合後(2010年8月1日現在)

<b>ヤフーグループ</b>	<b>23.51%</b>
株式会社バニラスカイ	7.16%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	6.54%
ゴールドマンサックスインター ナショナル	3.97%
柴田 聡	3.81%

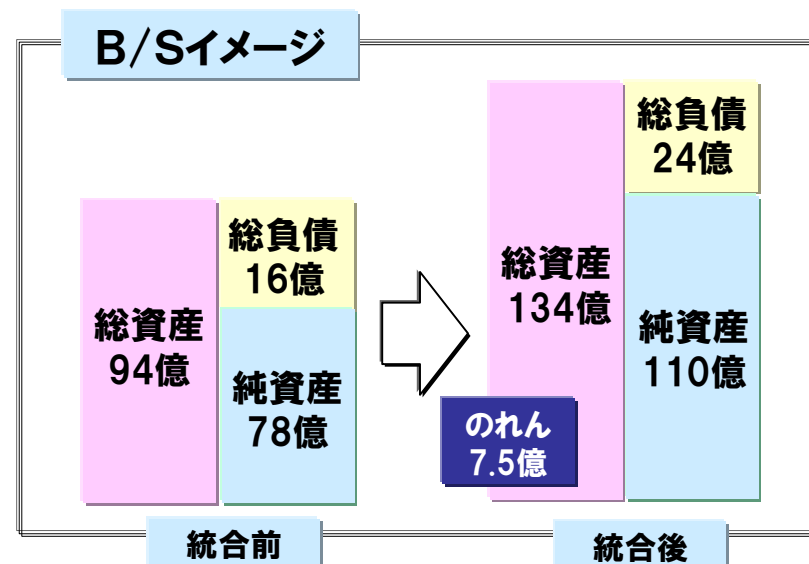
発行済株式数: 161,578株  
持株比率は発行済株式ベース

- ✓ マクロミルはヤフーグループの一員(持分法適用会社)となった
- ✓ ヤフー株式会社の実質保有割合は、**20.87%**（議決権株式数ベース）

# 統合後の財務状況・資本政策について

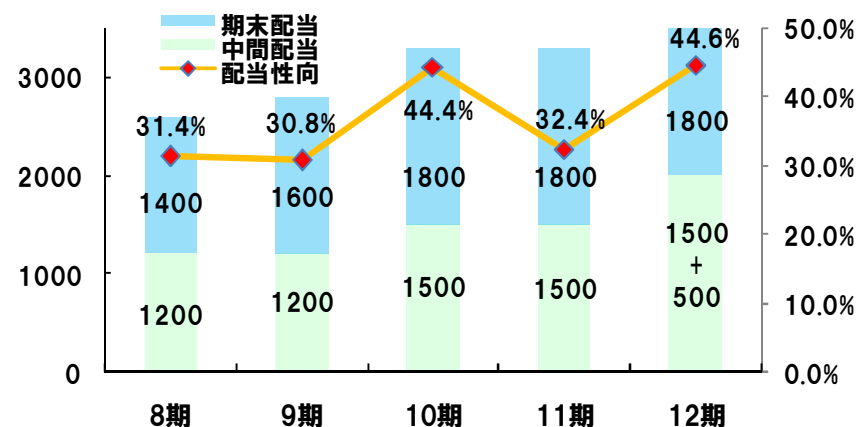
## ◆手元資金の状況

- ✓2010年6月の第三者割当増資に伴い、約13億円増加
- ✓統合後の資金 現金及び預金 67億円  
投資有価証券 10億円
- ✓今後も事業成長のための有効な資金として使用



## ◆株主還元の方針

- ✓ 連結配当性向 30%以上は今後も継続
- ✓ 年間配当3,300円 + **記念配当**500円を実施予定  
→中間配当1,500円 + 記念配当500円、期末配当1,800円  
(連結配当性向 44.6%)





# 3. 今後の事業展開について

# 中・長期的な事業展開の方向性①



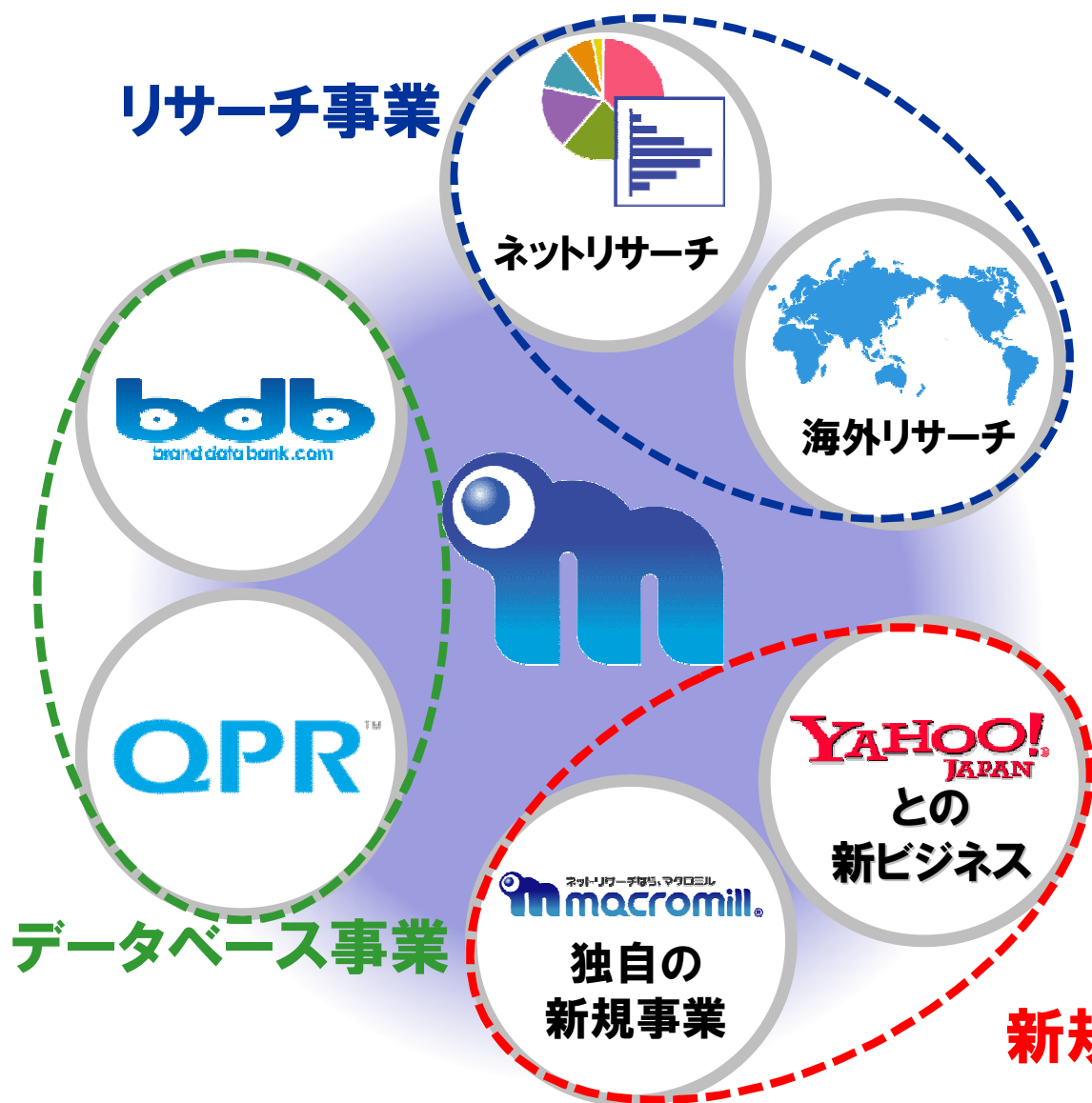
新たな事業ドメインの拡大



ネットリサーチの海外展開  
→中国等のアジア諸国における展開



## 中・長期的な事業展開の方向性②



### ✓ ネットリサーチを核とした新しいビジネスの展開

-  **AIRS MEMBERS** を活用した事業  
NetResearch and Panel Management System
- サンプルングプロモーション
- 検索連動型ソリューション
- 世論観測調査
- QPR事業の新展開

などを検討中

# 3力年の事業計画

(金額単位:百万円)

	2011年6月期(計画)		2012年6月期(計画)		2013年6月期(計画)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比

(単体)

売上高 (10%成長)	12,530	100%	13,700	100%	15,100	100%
経常利益	2,631	21%	3,100	23%	3,700	25%
当期純利益	1,376	11%	1,900	14%	2,200	15%

(連結) マクロミルコアは持分法適用のままの前提

売上高	12,530	100%	14,100	100%	15,700	100%
経常利益	2,506	20%	3,200	23%	3,900	25%
当期純利益	1,304	10%	1,900	13%	2,400	15%
海外売上比率					約3% ※	
連結EPS (円)	8,516		12,500		15,600	
時価総額 (PER20倍の前提)	260億円		380億円		480億円	

※マクロミルコアを連結子会社とした場合、連結売上高は170億円、海外売上比率10%となります

**成長企業であり続けるために**

**日本最大最強  
かつ**

**世界に類を見ないITマーケティング企業へ**



# 本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日ご説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

－本資料に関するお問合せ先－

株式会社マクロミル 財務経理本部 IR担当

TEL: 03-6716-0706 FAX: 03-6716-0701

E-mail: [ir@macromill.com](mailto:ir@macromill.com)